

株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド
代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
(コード番号: 3612 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 副社長執行役員 中林 恵一
(電話番号: IR・グループコミュニケーション室 03-6887-1300)

2026年2月期 (2025/3/1～2026/2/28)		上期						下期						通期		
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			
		Mar.	Apr.	May.	Jun.	Jul.	Aug.	1H	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.	Jan.	Feb.	2H	Full Term
売上前年比		伸び率 (%)														
国内小売売上 ※1		98.7	95.0	100.0	97.8	101.2	102.0	99.0	92.8						92.8	98.2
	店舗売上 ※2	98.8	95.3	100.9	97.5	101.3	101.8	99.1	93.0						93.0	98.4
	既存店売上 ※3	98.1	94.0	100.1	96.5	100.5	100.2	98.2	91.4						91.4	97.4
	Eコマース売上 ※4	98.7	93.5	96.5	98.8	101.0	※5 102.6	98.4	92.0						92.0	97.6
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数 ※2		2,270	2,298	2,299	2,301	2,298	2,284	—	2,295						—	—
	出店	21	31	8	3	4	4	71	18						18	89
	退店	13	3	7	1	7	18	49	7						7	56
	M&A	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0
既存店 対象店舗数 ※3		1,999	2,024	2,025	2,023	2,015	1,992	—	2,003						—	—

注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。また、通期の列においては、当月初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみに限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。なお、ラクサス・テクノロジーズ㈱の売上は2024年12月13日のIPOに伴って2025年1月度より除外となり、EC売上において年間通じて平均7.0%程度のマイナス影響と試算しております。

※5 2025年8月のEコマース売上前年比が102.7から102.6へ修正されました。下線部をご確認ください。

(当月の概況) 休日数(前年差) 当月

△1

 前年同月

+1

・当月は、国内小売売上が前年同月比92.8%となり、内訳は店舗売上が同93.0%、Eコマース売上が同92.0%となりました。既存店売上は前年同月比91.4%でした。休日数が前年同月より一日少なく、その影響は約2.2%のマイナスと推計しております。

・当月も、長い夏に対応した「暑秋」企画を構えましたが、店舗販路・EC販路共に売上が軟調でした。前半は残暑で一部効果が見られたものの、後半は秋商材へのシフトが遅れたブランドも多く、EC等の販促施策が伴って月ズレした影響も重なりました。

・今期は、長い夏への対策として「暑秋」を新設しましたが、その商品群の企画精度が未だ低いうえ、それまでの春や夏の低調な売上が滞留在庫を招き、それが次なる暑秋や秋へと進むシーズン切り替えを阻む、「玉突き」現象を招いたと反省しています。

・アイテム別では、シャツ・ブラウスが袖丈を五分から七分袖、長袖へと切り替えながら継続稼働したほか、秋色ブルオーバーや端境期に活躍するカーディガンなど新作が活発化しました。雑貨では調理器具「レンジメイトプロ」など秋の新作が人気でした。

・ブランド別では、インティメイト「リサマリ」やユーズドセレクト「ラグタグ」など一部を除き、総じて不本意な結果でしたが、先述した悪循環を早期に断つべく、すでに滞留在庫のキャリア防止や足元での秋商材シフトなどの巻き返し対策を講じております。

(参考: 前期実績)

2025年2月期 (2024/3/1～2025/2/28)		上期						下期						通期		
		3月 Mar.	4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	1H	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term
売上前年比		伸び率 (%)														
国内小売売上		98.0	104.8	101.1	109.0	99.2	101.6	102.1	102.9	94.2	105.2	102.7	98.8	92.1	99.6	100.8
	店舗売上	97.5	102.4	98.3	109.0	95.6	101.6	100.5	102.1	92.2	104.4	100.4	98.9	93.5	98.8	99.6
	既存店売上	97.9	103.5	99.4	111.0	96.5	102.3	101.4	103.2	92.7	104.7	100.2	98.8	91.7	98.6	99.9
	Eコマース売上	100.1	115.1	112.6	109.0	114.3	101.4	108.8	105.9	102.3	108.0	111.7	98.6	87.9	102.4	105.3
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数		2,207	2,221	2,217	2,218	2,198	2,181	—	2,200	2,220	2,228	2,279	2,255	2,262	—	—
	出店	30	16	1	1	7	5	60	25	20	9	3	1	18	76	136
	退店	15	2	5	0	27	22	71	6	0	1	0	25	11	43	114
	M&A	8	0	0	0	0	0	8	0	0	0	48	0	0	48	56
既存店対象店舗数		2,007	2,033	2,040	2,039	2,018	1,990	—	1,993	2,001	2,007	2,011	1,989	1,986	—	—